

## お客さまの大切なものをリスクからお守りする 保険会社としての役割を果たしてまいります

日頃よりアクサ損害保険をお引き立て賜り、誠にありがとうございます。本ディスクロージャー誌をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社は1998年の設立以来、お客さまのご要望に沿った高品質の商品およびサービスのご提供に尽力してまいりましたが、お陰さまで2023年6月に設立25周年を迎えました。設立から今日に至るまで当社が成長してこられたことは、ひとえに皆さまのご支援の賜物でございます。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

昨年度(日本会計2022年4月～2023年3月)決算におきましても、引き続き好調な収益と堅実な成長を実現することができました。元受正味保険料は、主力商品である自動車保険を中心とした持続的成長により前年同期比+1.4%増の584億400万円、税引後の当期純利益は、同+18.6%増の45億7,200万円となりました。今後も国内損害保険市場の動向と急速に変化する社会環境下におけるお客さまのご要望にお応えするため、強固な財務基盤を支えとしながら変革への持続的な投資を行ってまいります。

昨年度に実施した主要施策をご紹介させていただきますと、商品に関しましては、2022年5月10日以降を始期日とする「アクサダイレクト総合自動車保険」のご契約を対象に、『20等級継続割引』の導入および業界最多\*1区分の『走行距離区分の細分化』等を実施し、お客さま一人ひとりのライフスタイルに合った納得の保険料を実現しています。また、同年12月13日以降が始期日の同商品のご契約を対象

に、『無事故割引』、『車両新価特約』、『レンタカー費用補償特約』を含む各種割引制度ならびに特約を導入し、補償内容をますます充実させました。また、アクサ・ホールディングス・ジャパンのカーボンニュートラルのための経営戦略を実現していくため、環境に配慮した保険商品として『EV割引』ならびに『EV充電設備補償特約』も新たに導入いたしました。電気自動車の普及を後押しし、お客さまの大切なものをリスクからお守りする保険会社として環境負荷低減に貢献してまいります。

サービス面に関しましては、2023年1月より、事故や故障などのトラブルに遭われて自力走行不能となったお車に対し、お客さま指定の修理工場やご自宅までの無料レッカー移動距離を、業界最高水準\*2の150kmまで延長するとともに、二輪自動車および原動機付自転車についても、無料レッカー移動距離を100kmまで延長いたしました。続く3月には、当社の自動車保険・バイク保険のご契約者さま向けのLINE公式アカウントを開設したほか、ウェブサイトのチャットの対応範囲も拡大しています。今後も「デジタルとヒューマンの融合」をテーマに、お客さま一人ひとりのコミュニケーションニーズにお応えするとともに、お客さまとの接点を増やし、スムーズなご案内と利便性の向上を図ってまいります。

会社の成長のドライバーとして重要な従業員の幸福度(ウェルビーイング)向上に関しましては、2022年10月1日付育児・介護休業法改正に伴い、子供が1歳になるまでに、出産していないパートナーが、出

生時育児休業と通常の育児休業を合わせ、最大4回に分割して育児休業を取得できるように社内規定を改定いたしました。これにより、女性社員はもとより男性社員の育休取得率も向上し、2022年度末時点で、男性の育児休暇取得率66%を達成いたしました。今後も、更なる職場環境の改善・向上に向けた取組みを全社的に推進してまいります。

アクサが社会の一員として果たすべき重要な活動と定義しているCR(コーポレート・レスポンスビリティ=企業の社会的責任)活動におきましては、神奈川県立こども医療センターに入院している子どもたちの治療に寄り添い、勇気づけるファシリテイドッグのスポンサーを2019年から継続しております。また、昨年度に引き続き、当社の拠点がある地域コミュニティへの恩返しとして、面会が制限されている入院中の子どもたちへの支援を目的に遠隔操作型分身ロボット「OriHime」を貸出し、ご家族との団らん、普段会えない学校のご友人との交流などにご活用いただきました。

今後も、アクサの「すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。」というパーパス(存在意義)を体現し、お客さまの大切なものをリスクからお守りする保険会社としての役割を果たしてまいりたいと考えております。

皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援・ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



アクサ損害保険株式会社  
代表取締役社長 兼 CEO

佐伯 美奈子

※1: 自社調べ (2022年2月時点)

ダイレクト型自動車保険会社8社が設定している距離区分数を比較

※2: 自社調べ (2022年12月時点)

特約等を除いて、国内のダイレクト型自動車保険会社8社が提供するロードサービスの無料レッカー移動距離を比較

# CONTENTS

<b>01</b>	Our Purpose	<b>18</b>	I アクサ損害保険の現況
<b>02</b>	アクサグループの戦略計画	18	1 事業の経過および成果等
<b>04</b>	アクサグループの日本における事業展開	21	2 内部統制システム構築の基本方針
<b>06</b>	CEOメッセージ	22	3 コンプライアンス(法令遵守)の体制
<b>09</b>	Our Strategy	23	4 リスク管理の基本方針
<b>10</b>	最近の経営トピックス	24	5 勧誘方針(セールスポリシー)
10	Growth 成長	25	6 お客様に関する個人情報の 取扱いについて(プライバシーポリシー)
13	Digitalization デジタル化	27	7 利益相反管理体制
14	Customer First and Operational Efficiency お客さま第一と効率性	27	8 保険金等支払管理態勢
15	Employee Well-Being 従業員のウェルビーイング	28	9 反社会的勢力に対する基本方針
16	Corporate Responsibility & Climate Actions 企業の社会的責任と気候変動アクション	28	10 監査・検査体制
		29	11 主な取扱商品
		31	12 お客さまサービス
		33	13 保険のしくみ
		<b>39</b>	II 業績データ 当社の主要業務に関する事項
		<b>51</b>	III 業績データ 財産の状況
		<b>61</b>	IV 会社概要
		<b>67</b>	損害保険用語の解説(50音順)



# Our Strategy

アクサダイレクト

2021-2023 中期経営計画

「デジタル化」を中核とする3つの戦略的な柱を建て、  
真の顧客主導の企業へ成長するとともに、  
それを支える従業員のウェルビーイングを拡充させてまいります。

Growth  
成長



お客さまの新たな  
ニーズに応える

Digitalization  
デジタル化



デジタルマインドを持つ  
すべての人々をターゲット

Customer First  
& Operational Efficiency

お客さま第一と  
効率性



顧客利便性とサービスを  
商品に付加していく

Corporate Responsibility  
& Climate Actions

企業の社会的責任と  
気候変動アクション



CO<sub>2</sub>の排出削減  
EV向け商品・サービス

Employee Well-Being

## 従業員のウェルビーイング



スマートワーキング



インクルージョン&ダイバーシティ



グッドコミュニケーション

# Growth 成長

アクサのグローバルブランドを強みとしながら、お客さまのライフスタイルに  
お応えする新商品、サービスを展開しています。

## 家族への想い、保険で応援。

2023年1月から放映を開始したCMでは、子育てをしている世帯を応援するためにアクサダイレクトが提供している「子育て応援割引」<sup>※1</sup>や安全運転を続けているドライバーをサポートする「無事故割引」<sup>※2</sup>などの割引とサービスを紹介しています。前作

に引き続き、日本におけるアクサのブランドアンバサダーである俳優の岡田将生さんを起用し、家族への想いに寄り添う自動車保険会社として、お子さまとの充実したカーライフを応援したいというアクサダイレクトの願いを込めました。



## より多くのお客さまに「安心」「充実」「おトク」を

当社は、メインターゲットである新規のお客さまや、代理店型からの乗り換えのお客さまへ向けて、当社が強みとしている「安心」「充実」「おトク」という3つのポイントでアクサダイレクトの商品・サービスの特長や親身な対応を簡潔で分かりやすいコミュニケーションを通じて訴求しています。実際の

調査やお客さまの評価などに基づいたファクトを併せてお伝えすることで、お客さまのダイレクト型保険会社に抱えている漠然としたご不安を払拭し、より多くのお客さまに当社の商品・サービスをご利用いただけるよう努めてまいります。

**安心**

事故対応満足度**93%**<sup>※3</sup>  
**24時間あなたに  
寄り添う事故対応**  
事故現場で安心の電話交代サービス  
業界最高水準のロードサービス<sup>※4</sup>

**充実**

補償内容満足度**96%**<sup>※5</sup>  
**ますます充実！  
選べる補償内容**  
あなたと家族、お車を守る補償が充実  
補償選びもチャット・電話でサポート

**おトク**

代理店型からの切り替えで  
**平均25,341円**<sup>※6</sup>  
**保険料節約**  
保険料は走る分だけで合理的<sup>※7</sup>  
ネット割+無事故割で割引最大22,000円<sup>※8</sup>

※1:「子育て応援割引」は、「乳幼児同乗割引」の愛称(ペットネーム)です。同居する0~12歳のお子さまとの移動のためにご契約のお車を月平均2日以上使用する場合、「使用目的」に応じて適用される最大約3%の割引。割引対象となる種目は、対人賠償保険、対物賠償保険、搭乗者傷害保険、車両保険および人身傷害補償特約となります。適用条件詳細は、当社ウェブサイト(<https://www.axa-direct.co.jp/auto/goodprice/childcare.html>)をご確認ください。

※2:「無事故割引」は、所定の条件を満たすご契約に適用される割引です。等級ダウン事故がある場合と比べて保険料が2,000円割引となります。

※3:自動車保険の保険金をお支払いしたご契約者さまアンケート結果で、事故対応サービスの総合的評価について5段階評価のうち3以上を回答した合計割合(集計期間2022年1月~2022年12月/回答数2,249件/自社調べ)

※4:付帯サービスとしてロードサービスを提供している保険会社比較。拠点数や無料レッカー距離など計12項目のうち8項目が業界最高水準(2023年4月自社調べ)

※5:他社(代理店型)から切り替えた当社自動車保険新規ご契約者さまアンケート結果「とても満足」「満足」の合計割合(回答数118件/2022年12月自社調べ)

※6:他社(代理店型)から切り替えた当社自動車保険新規ご契約者さまアンケート結果で、以前よりどの程度保険料を節約できたかを具体的な金額でお答えいただいた方の平均値(回答数118件/2022年12月自社調べ)上記金額は当社実施のアンケート結果であり、契約条件・補償内容が相違する場合があります。

※7:予想される「年間走行距離」の最大値に応じて保険料を算出しています。距離区分は1,000km未満から20,000km以上まで、全8区分です。

※8:割引額は保険料に応じて異なり、所定の条件があります。

## 無事故割引、20等級継続割引

保険期間1年以上の前契約があり、前契約の保険期間中に3等級ダウン事故・1等級ダウン事故のいずれもない場合に<sup>※1</sup>、2,000円<sup>※2</sup>の割引を適用する「無事故割引」を新設いたしました。<sup>※3</sup>また、現在20等級で無事故のお客さまには4区分（「1年目」「2年目」「3年目」「4年目以降」）にわたり「20等級継続割引」<sup>※4</sup>をご提供しています。長く無事故運転を続けている安全運転ドラ

イバーの「無事故を続けているのに保険料が下がらない」という声にお応えします。

他社で20等級（事故有係数適用期間0年）、保険期間1年以上で無事故のままアクサダイレクトに切り替えた方にも、切り替え初年度から割引が適用され、無事故であれば長期的に割引は継続されます。

あなたの安全運転を保険料に反映



**「無事故割引」**

1年間無事故なら、翌年の保険料を割引！

しかも、20等級なら



**「20等級継続割引」**

無事故の期間に応じて割引率Up。

## お客さまページ複数契約割引

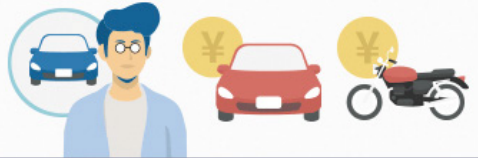
当社の自動車保険またはバイク保険をご契約中の方が、Emma by アクサ（お客さま専用ページ）にログインし、申込可能な期間（保険始期日の60日前から前日まで）に新規で自動車保険やバイク保険のお見積りを完了したご契約に1,000円<sup>※2</sup>の割引を

適用する「お客さまページ複数契約割引」を新設いたしました。2台以上のお車・バイクをお持ちの方は、自動車保険、バイク保険をまとめてご契約いただくと保険料が割引られます。

2台目以降の新規ご契約分の保険料がおトクに

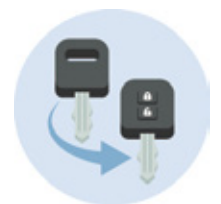
**「お客さまページ複数契約割引」**

Emma by アクサ（お客さま専用ページ）からのご契約で、保険料を割引



## 鍵交換費用補償特約

ご契約のお車の鍵の盗難・紛失<sup>※5</sup>があった場合や盗難後にお手元に戻った場合、以後のお車の盗難を防止するために、ご契約のお車の鍵および錠を交換する費用について、10万円を限度に<sup>※6</sup>保険金をお支払いする「鍵交換費用補償特約」を新設いたしました。お車の鍵の紛失に対応した鍵交換費用の補償は業界初<sup>※7</sup>となります。この特約では、「ご契約のお車の鍵が盗難にあった」または「鍵を紛失した」といった場合に、鍵および錠の交換時に発生する、レンタカー費用、搬送費用、宿泊費用、移動費用、開錠費用も3万円を限度に<sup>※6</sup>お支払いいたします。



※1：現前契約の保険会社は問いません。中断証明書（国内・海外）を使用して加入する場合も割引の適用対象となります。また、前契約の保険期間が1年超の長期契約で事故がある場合でも、所定の条件を満たすときは割引が適用されます。

※2：分割払いの場合、一括払いの場合と計算方法が異なります。お見積り結果画面にて割引後の保険料をご確認ください。

※3：保険料の改定やご契約条件により、無事故割引が適用された場合でも前契約より保険料が上がる場合があります。

※4：現在19等級で新たに20等級になった場合には適用されません。

※5：遅滞なく遺失届を提出したものに限りです。

※6：保険期間を通じ1回のみのお支払いとなります。

※7：国内の自動車保険会社19社における自社調べ（2022年8月時点）

## 車両新価特約

車両保険の対象となる事故<sup>\*1</sup>により、ご契約のお車が全損であったり、損害の額が新車保険金額の50%以上となる場合などでお車の買替または修理をした場合に、新車保険金額を限度にお支払いする「車両新価特約」を新設いたしました。通常の車両

保険では、年数を経るごとに車両の価値の低下に伴い、車両保険金額は減少していきます。この特約を車両保険にセットいただくことにより、大きな損害が生じた場合に保険金で同等の新車を購入することが可能になります。<sup>\*2</sup>

## レンタカー費用補償特約

車両保険の対象となる事故によりご契約のお車の代車としてレンタカーを借りた場合<sup>\*3</sup>、レンタカー費用について、保険金日額を限度に保険金をお支払いする「レンタカー費用補償特約」を新

設いたしました。この特約をセットいただくことで、事故によるお車の修理期間中や買替期間中の代車費用を補償いたします。

## 業界最高水準のロードサービス

事故や故障などのトラブルに遭われて自力走行不能となったお車に対し、お客さま指定の修理工場やご自宅までの無料レッカー移動距離を、業界最高水準<sup>\*4</sup>の150kmまで延長いたしました。二輪自動車および原動機付自転車については、無料レッカー移動距離を100kmまで延長いたしました。ロードサービスセンターが指定する最寄りの修理工場への無料レッカー移動距離は引き続き無制限でご利用いただけます。

	自動車		二輪自動車および原動機付自転車	
	改定前	改定後	改定前	改定後
お客さまが指定された修理工場や自宅まで	35km	<b>150km</b>	50km	<b>100km</b>
ロードサービスセンター指定の修理工場まで	無制限	無制限	無制限	無制限

## 配偶者の範囲拡大

「配偶者」の定義に「同性パートナー」を含め、これにより同性パートナーを「配偶者」として補償の対象に含めることやノンフリート等級の引継ぎなどが可能となりました。<sup>\*5</sup> パートナーシップの証明には一般社団法人Famiee(ファミー)がスマートフォン上で発行するパートナーシップ証明書もご利用いただけます。<sup>\*6</sup>



※1: 盗難は除きます。

※2: この特約は、保険期間の末日の属する月がご契約のお車の初度登録(検査)年月の翌月から起算して61か月以内である場合にお申込みいただけます。

※3: 当社が指定するレンタカー会社でレンタカーを借りた場合に限りです。

※4: 付帯サービスとしてロードサービスを提供している保険会社比較。拠点数や無料レッカー距離など計12項目のうち8項目が業界最高水準(2023年4月自社調べ)

※5: 契約のお手続きや保険金のお支払いにあたり、パートナーの関係性が確認できる資料のご提出をお願いする場合があります。

※6: 別途、同居している事実が確認できる資料の提出が必要となります。

# Digitalization

## デジタル化

デジタル化によりお客さまの多様なニーズにお応えするとともに、洗練された顧客体験を提供してまいります。

### 事故対応の経過などを24時間いつでも確認

当社では、パソコン・スマートフォンから24時間いつでもご利用いただけるお客さま専用ページ「Emma (エマ) by アクサ」をご用意しています。2023年1月に一部デザインと機能を刷新し、サイト内では、事故対応の経過などを24時間いつでも確認できる「事故経過WEB照会」をご覧いただけるほか、事故担当者への質問やご連絡、ドライブレコーダーの動画や事故現場の写真などのアップロード、保険金お支払い先の口座登録、保険使用の意向の回答などを行うことができます。なお、事故対応状況の更新通知はこれまでメールやSMSでご連絡しておりましたが、今回、お客さま専用ページ「Emma by アクサ」とLINEのアカウントを連携<sup>※1</sup>していただくことで、LINEでも通知を受け取ることが可能になりました。<sup>※2</sup>



事故経過報告の画面



LINE上の更新通知

### お客さま専用ページへのログインに2段階認証を導入

ご契約内容の確認や変更などができるお客さま専用ページ「Emma (エマ) by アクサ」へのログインに、2段階認証を導入しました。これまで以上に、お客さまのご契約内容や事故などの個人情報をよりセキュアな環境でお守りすることが可能となりました。



### 基幹システムをアップグレード

当社は、お客さまのライフスタイルの変化やデジタルツールの発達に伴い、多様化するニーズに対応するため、経営戦略として2017年からDX（デジタルトランスフォーメーション）を推し進め、クラウド型コールセンターシステム、基幹システムの刷新、ウェブサイトリニューアルにより、保険のお見積りからお申し込み、ご契約内容の変更・更新までを一貫してデジタルで完結で

きる仕組みを構築してまいりました。このたび、契約管理・保険料請求プロセスを担う基幹システムをアップグレードいたしました。業務の効率化によって創出された時間でお客さまと今まで以上に向き合い、デジタル志向や、多様化するニーズにお応えする新たな価値を提供してまいります。

※1：複数のLINEアカウントと「Emma by アクサ」アカウントのご連携はできません。既にSMSで事故対応状況の更新通知を受け取っている場合、LINEアカウント連携が完了後は通知方法がSMSからLINEへ自動で切り替わります。

※2：本サービスは「Emma by アクサ」稼働時間のみご利用できます。



# Customer First and Operational Efficiency

## お客さま第一と効率性

お客さまとのタッチポイントを増やし、よりスムーズなご案内と利便性向上を目指してまいります。

### 手話通訳サービスを導入

耳や言葉のご不自由なお客さまにもビデオ通話を通じ、安心してスムーズに各種お問い合わせをしていただけるよう、2022年6月から「アクサダイレクト 手話通訳サービス」\*1を開始いたしました。専用窓口から通訳オペレーターを介してビデオ通話で手話通訳サービスをご利用いただくことで、スムーズにお客さま対応窓口までお問い合わせいただくことができます。\*2 手話だけでなく、筆談・文字チャットによるコミュニケーションにも対応しています。



### アクサダイレクトのLINE公式アカウントを開設

2023年3月に、自動車保険・バイク保険のご契約者さま向けのLINE公式アカウントを開設いたしました。LINE上で友だち追加していただくと、メニュー一覧から「事故のご連絡・事故サポート」「故障（ロードサービス）のご連絡」など各種サービスをご確認いただけます。\*3 また、万一の際にはLINE画面からすぐに事故・故障のご連絡画面へ遷移できるようになり、お客さま専用ページ「Emma by アクサ」へのアクセス向上により、ご契約内容のご確認・変更手続きなどもスムーズに行うことができます。

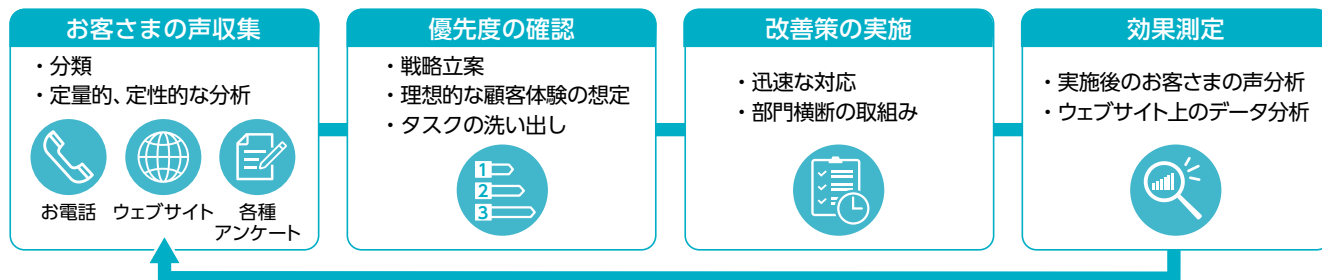


### お客さまの声を商品・サービスに反映

当社は「お客さま第一」を戦略上最も重要な柱の一つとして掲げており、お客さまからの声を商品やサービスに反映する仕組みを構築しています。具体的には、お客さまの声を通じて認識した優先課題については根本原因と具体的な改善策について部門横断で話し合い、改善策実施後の効果検証などを通じ、

お客さまのリアルな声をサービスに反映させています。改善策実施後も、その後の状況を追跡することにより、効果測定を行うとともに、効果が現れない場合には、追加の施策を検討し、より良い商品・サービスをご提供できるよう日々さまざまな取組を継続して行っています。

#### 〈お客さまの声を反映させる仕組み〉



\*1: 「アクサダイレクト 手話通訳サービス」は、当社業務委託先の株式会社プラスヴォイス ( <https://plusvoice.co.jp/> ) が提供します。

\*2: サービスご利用時の携帯電話、スマートフォン等のご利用やインターネットの接続料など、通信にかかる費用はお客さまのご負担となります。携帯電話会社の提供する回線を使用しているビデオ通話は、パケット通信料が高額になる場合がございます。事前に、お客さまの携帯電話、スマートフォンに関する契約プランをお確かめのうえ、ご利用ください。

\*3: 本サービスはLINEアプリをご利用いただけるスマートフォン端末のみ、ご利用いただけます。

# Employee Well-Being

## 従業員のウェルビーイング

コーチングや研修機会の提供を通じて  
社員個々の可能性を最大限に引き出し、ともに成長してまいります。

### インスパイアされる職場を目指して

当社は、社員一人ひとりが個としての存在が認められ、自己実現できると感じられる「インスパイアされる職場」を組織文化として掲げ、さまざまな人事制度や研修プログラムを提供しています。リーダーとして成果にコミットする「リーダーシップ開発」、上司部下との対話品質の向上を目的とした「コーチング研修」、[世代別キャリア研修] やプロフェッショナル人材育成のための「各種ビジネススキル研修」および「自律的キャリア支援」などを用意し、社員一人ひとりの自己実現をサポートしています。



### ボトムアップによるI&Dカルチャー醸成

当社には、女性活躍推進、セクシュアルマイノリティへの理解促進、異文化交流、気候変動など共通のテーマ・関心のもとに従業員が集まり、課題解決や自身の夢実現に向けて自主的に活動する「従業員リソースグループ (ERG)」があります。ERG各グループのスポンサーには役員が就きその活動をサポートしながら、職場での新たなイベントの開催や人事制度への提言を通じ、インクルージョン&ダイバーシティカルチャーの醸成をボトムアップで推進しています。



### 女性活躍推進

当社の社員の約半数を占める女性社員の活躍推進を目指し、次世代女性管理職育成プログラムを実施しています。社長や先輩リーダーとのトークセッションや分科会を通じて、従来のリーダー像にとらわれない「自分らしいキャリア」を目指し、次世代女性リーダーのプールを形成しています。女性活躍推進法における当社の行動計画は、2026年度末までに女性管理職比率

30%以上を目指しています。正社員の育児休業取得率においては男性社員の取得率2026年度末33%以上を目標としていましたが、2022年度末時点で66%と目標を前倒しで達成しました。育休中の社員に、社内のニュースをまとめた「育休通信」の配信を新たに開始するなど、仕事と家庭の両立をさまざまな形で支援しています。



	2023年 3月末時点	2026年度末 目標
女性管理職比率	26%	30%
男性の育児休業取得率	66%	33%

# Corporate Responsibility & Climate Actions

## 企業の社会的責任と気候変動アクション

「すべての人々のより良い未来のために。私たちはみなさんの大切なものを守ります。」  
というアクサグループのパーパス(存在意義)を体現する活動を行ってまいります。

### シャイン・オン!キッズとのパートナーシップ

当社は、病気と闘う子どもたちやそのご家族の皆さまが心からの笑顔で過ごせるようにとの想いで、入院している子どもたちに寄り添い、勇気づけるファシリティドッグの支援を2018年から続けています。ファシリティドッグ「アニー」のオフィシャルスポンサー継続を機に、オリジナル絵本を制作し、500冊を神奈川県立こども医療センターに贈呈しました。3作目となる『スマイルランドのミツパチ〜ここをつなぐ贈りもの〜』は、入院を経験されたお子さんのごきょうだいを作者に迎え、従業員と一緒に制作しました。絵本制作を通して「あらためてご自身を大切に感じる」「かけがえの

ないご家族との絆を深める」きっかけになれば、という想いが込められています。絵本は [こちら](#) からお読みいただけます。



当社代表取締役社長兼CEO佐伯美奈子(写真左)、認定NPO法人シャイン・オン・キッズ事務局長の二ーリー・美穂さま(写真右)



贈呈式では絵本作者の子どもたちと一緒に朗読

### 地域コミュニティへの貢献

当社の拠点がある北海道旭川市、福井県福井市、高知県高知市において、遠隔操作型分身ロボット「OriHime」を使った入院中のお子さんとのリモート交流会を行いました。感染症対策の影響を受け、医療機関では引き続き面会などが制限されています。困難な状況下で病気と闘うお子さんたちを励ましたいという想いから企画した「外の世界の体験」プレゼントでは、分身ロ

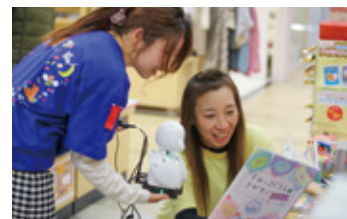
ットに内蔵されているカメラとマイク・スピーカーを通して、子どもたちは病院にいながら、景色を見たり、家族や友達と双方向で会話したりすることができます。2022年から2023年にかけて9人のお子さんに「OriHime」を貸出し、家族との団らんや、学校のお友だちとのコミュニケーションにご活用いただきました。



子どもたちの“分身”ロボット



絵本の読み聞かせ



お買い物体験

### ブラインドサッカーの支援

当社を含むアクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社傘下の保険3社は、ブラインドサッカーの支援を継続して行っています。日本ブラインドサッカー協会の健常者と障がい者が「当たり前」に混ざり合う社会の実現というビジョンに共鳴し、国内大会の協賛などを通して視覚障がいに対する理解促進やブラインドサッカーの普及啓発に努めています。




©JBFA/H.Wanibe

## 自動車保険会社として脱炭素を後押し

ご契約のお車が自家用8車種<sup>\*1</sup>である場合、型式発売年月が2016年1月以降、且つ、当社が定めたEV（電気自動車）またはPHEV（プラグインハイブリッド車）に対し1,500円<sup>\*2</sup>の割引を適用する「EV割引」を新設しました。EV割引はバイク保険にも適用され、電動バイクに対してEV割引を適用するのは業界初<sup>\*3</sup>となります。<sup>\*4</sup>上記に加えて、充電設備にお車が衝突した、落雷・水災等の被害を受けた等、偶然の事故により自宅駐車場等に設置しているEV充電設備に損害が生じた場合に、保険期間を通じて20万円を限度として保険金をお支払いする「EV充電設備補償特約」を新設しました。<sup>\*5</sup>落雷・水災や他の車等との衝突など

偶然の事故全般を補償する自動車保険の特約は業界初<sup>\*3</sup>となります。


なお、脱炭素社会の実現へ向けて期待が高まっているEVは、エンジン車と比較して航続距離が短く、バッテリーの充電が切れた状態である「電欠」がEVの普及に向けた課題の1つとされていますが、「AXAプレミアムロードサービス」規約の改定により、EV（電動バイク含む）が電欠で自力走行不能となった場合、その現場から最寄りの充電可能な設備までのレッカー移動の利用回数を無制限といたしました。これにより、EVドライバーにも安心のロードサービスを提供します。



真剣に考えたい地球のこと。未来を思うEVオーナーへ

対象 EVまたはPHEVの自動車・バイク

# アクサから「EV割引」& 「EV充電設備補償特約」登場!



## ボトムアップによる気候変動アクションを推進

当社は、グループ会社のアクサ生命、アクサダイレクト生命とともに、気候変動アクションを推進する従業員リソースグループ<sup>\*6</sup>「クライメイト・ファミリー」を立ち上げました。地球温暖化や近年多発する自然災害等の課題解決に向けて、一人ひとりができることを広め、地球環境を守っていきたいという想いで、従業員自らが立ち上げたグループです。より多くの従業員を巻き込み、小さなアクションから地球環境にポジティブなインパクトを与えるボトムアップの活動を推進しています。毎月フードロス、リユース、ゴミ問題など異なるテーマを掲げ活動しています。



リユースを目的としたベビー用品やおもちゃの譲渡会

※1：自家用普通乗用車、自家用小型乗用車、自家用軽四輪乗用車、自家用小型貨物車、自家用軽四輪貨物車、自家用普通貨物車（最大積載量0.5トン以下）、自家用普通貨物車（最大積載量0.5トン超2トン以下）、特種用途自動車（キャンピング車）  
 ※2：分割払いの場合、一括払いの場合と計算方法が異なります。お見積り結果画面にて割引後の保険料をご確認ください。  
 ※3：国内の自動車保険会社19社における自社調べ（2022年8月時点）  
 ※4：バイク保険での適用には、お見積り・お申込み等の手続きの際に定格出力区分をご申告いただくことが条件になります。  
 ※5：この特約は、ご契約のお車が「EV割引」の適用対象となる場合にセットできます。建物の火災保険と補償が重複することがあります。ご契約にあたっては十分にご確認ください。また、「EV充電設備補償特約」は自動車保険のみ対象の特約となります。  
 ※6：共通の問題意識や関心を持った従業員が自主的に集い、課題解決に向けた活動を行うグループのこと。